

目次

- 2/特集「現場実習について考える」
- 4/介護支援専門員実務研修受講試験のお知らせ
- 5/介護実習普及センター「はあとふるケア」
- 6/ありがとうメッセージ
- 7/活動最前線「那覇セントラルホテル」
福祉施設経営相談Q&A
- 8/ほつとニュースTopics
- 10/沖縄県社協 事業実績&決算報告
- 13/沖縄県共募 事業実績
- 14/苦情解決事業について
- 16/福祉人材研修センターだより
- 18/県民児協広報「ふくらしゃ」



「琉装の女性」 比嘉博さん(那覇市)の作品

「福祉情報おきなわ」の作成経費の一部として共同募金配分金を使用させていただいております。

編集・発行

沖縄県社会福祉協議会 沖縄県共同募金会

沖縄県福祉人材研修センター 沖縄県民生委員児童委員協議会

〒903-8603 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1
(沖縄県総合福祉センター内)
TEL098-887-2000 FAX098-887-2024
<http://www.okishakyo.or.jp/>

未来予想図 求む!

ふくしアイデアコンテスト 作品募集

沖縄県社協では、「あなたが考えるふくしの島 沖縄」をテーマに、「ふくしアイデアコンテスト」を実施します。こんな沖縄になってほしいと願う未来の沖縄の姿を作文または、絵画で表現して下さい。

詳しくは、沖縄県社協広報係まで。
テーマ「あなたが考えるふくしの島 沖縄」

募集期間 7月1日(金)～9月30日(金)まで

寄付ありがとうございました

比嘉秀徳 様.....100,000円
伊良波哲 様.....50,000円
沖縄県電気管工事事業協会 御中.....1,000,000円
宗教法人円応教青年会 御中.....72,935円
沖縄県地域組織連絡協議会
.....交通安全マスコット300個



応募方法 作文・絵画のいずれかで応募(枚数・画材は問いません)
個人での応募、グループでの応募いずれも可能
大賞、特別賞をご用意。受賞者には賞状と記念品を授与します。(授賞式を開催)

ボランティア・NPO・企業の市民協働を考えるフォーラム

市民や企業市民がボランティア・市民活動・地域貢献を行っていく意味や必要性を捉えなおす機会として次のフォーラムを実施します。
期日 平成17年7月21日(木)
場所 沖縄県総合福祉センター
参加対象 NPO職員、県内企業社員、市町村社協担当職員、行政職員、学校教員
定員 75名

参加費 無料
申込み・問合せ先 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター
(担当 佐々倉・宮道)

助成金情報

みずほ福祉助成財団 7月末日まで

対象 法人施設、団体、共同作業所等又は研究グループ。個人は除く。
対象事業 障害(児)者に関する事業及び研究で先駆的・開発的事業を優先。

助成金額

事業助成 15～100万円以内
研究助成 15～200万円以内

申込書請求・提出・問合せ先

財団法人 みずほ福祉助成財団
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-5-4

電話 03-3320-1124
FAX 03-3320-1124

提出期限 平成17年7月末日
(当日消印有効)

あなたの絵を表紙に

「福祉情報おきなわ」の表紙には毎回、県民の皆様が描いた絵画を掲載しています。福祉を連想させる温かい絵を募集します。詳しくは沖縄県社協広報係まで。

表紙の絵

比嘉 博さん



比嘉さんは、かりゆし長寿大学第14期の卒業生。小学生のころより趣味で絵画を描き始めた。かりゆし長寿大学では専門講師に指導を仰ぎながらさらに腕を磨いた。現在でも、同大学の同窓生で構成される「かりゆし絵画サークル」に参加している。
「絵を描くことは好き。趣味を持つことは大切です。」と話す。
(取材:事務局)

編集後記

私の施設実習を振り返ると短期間に実に多くのことを学んだ記憶が思い出されます。目に映る福祉の現場はまさに驚きの連続でした。実習生の頃の視点を思い返すと、受入れ施設の職員が実習生から学ぶことも意外と多いかもしれませんね。
(K)